

📱 お申し込みサイト

⚠️ 参加人数に限りがございますので、お申し込み後のキャンセルはお控えくださいますようお願いいたします。

高校生の方

<https://www.ecozzeria.jp/msc2026h>



大学生・大学院生の方

<https://www.ecozzeria.jp/msc2026u>



※オリエンテーションへの参加は必須です。全日程にご参加いただきますようお願いいたします。
※オリエンテーションについて、ZoomのURLはお申込み後にメールにてお知らせいたします。
※当日主催者及び報道機関等メディアの取材が実施されます。参加者は、イベント中に撮影された写真や動画等が、WEB・SNS等各種メディアに利用・掲載されることに同意の上お申し込みください。

受講対象	高校生、大学生・大学院生
開催日時	オリエンテーション：2026年8月6日(木) 16:00～17:30 メインプログラム：2026年8月12日(水)～8月14日(金) 各日10:00～17:30 [DAY3のみ～18:00] ※オリエンテーションへの参加は必須です。※全日程にご参加いただきますようお願いいたします。
参加方法	オリエンテーション：オンライン (Zoom) メインプログラム：会場 (3×3Lab Future)
定員	60名 (高校生30名、大学生・大学院生30名)
参加費	無料
主催	三菱地所株式会社 エコツェリア協会
お問合せ	エコツェリア協会 丸の内サマーカレッジ2026事務局 ✉ marunouchi-sc@ecozzeria.jp



丸の内サマーカレッジ2026公式サイト
<https://www.ecozzeria.jp/events/msc/msc2026.html>

丸の内サマーカレッジ2026 企画・事務局



エコツェリア協会
田口 真司
プロデューサー



エコツェリア協会
辻井 純平
事務局



エコツェリア協会
辻村 滋
事務局



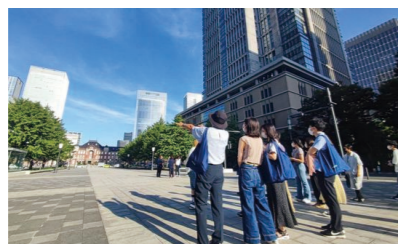
エコツェリア協会
豊田 大晃
事務局



エコツェリア協会
中山 智香
事務局



エコツェリア協会
大西 五綾
事務局



会場 3×3Lab Future (さんさんラボ フューチャー)

東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル1F
TEL:03-6266-9400

東京メトロ (東西線・千代田線・半蔵門線・丸の内線・都営三田線)
「大手町」駅 (C10出口) より徒歩約2分



丸の内 サマーカレッジ 2026

8月12日(水)～14日(金)

※8月6日(木) オリエンテーション



Marunouchi Summer College

at 3×3Lab Future

高校生・大学生が
未来の社会へのアイデアを
仲間と共に創り上げる

参加費
無料

1



Research

未知の世界に触れる

社会課題解決に取り組む著名人の講義!
丸の内のまち歩きも実施します

2



Communication

新しい出会いと対話

他学の仲間と交流しながら、
グループワークで思考を深めていこう!

3



Idea Discussion

アイデアディスカッション

想いを乗せたアイデアを創り上げ、
最後はプレゼンテーション!

主催





高校生・大学生が 未来の社会へのアイデアを 仲間と共に創り上げる

学生の手で
“未来”に
新たな風を

35万人のビジネスパーソンが集い、日々新たなビジネス創出に向けて様々な取り組みが行われている大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリア。「丸の内サマーカレッジ」では、これから社会へと踏み出す高校生・大学生が、社会課題解決など様々な分野で活躍する8名の講師陣の生き方や想いを学び、取り組んでいきたいプロジェクトのアイデアを、他学の仲間と交流しながら創り上げていきます。

オリエンテーション

8/6(木) 16:00 - 17:30

メインプログラムに向けて、共にチャレンジする仲間と交流しましょう!
※参加方法: オンライン

メインプログラム

DAY1 8/12(水)

DAY2 8/13(木)

DAY3 8/14(金)

10:00 - 12:00	<p>講演1 「学び」を「実践」へ発展させる3日間のはじまり</p> <p>講師: 長岡健氏</p> <p>オープニングとなる本講義では、学んだ知見を、自分ごととしてとらえ、実践にどう活かしていくかの心構えを教わります。また本プログラム3日間を通して活動するグループを組成するため、ワークショップも開催します。</p>	<p>講演3 ONLINE グローバルな視点を体感しよう</p> <p>講師: 榎本博之氏</p> <p>米国シリコンバレーで起業家として活躍する榎本さんから、グローバルでビジネスを展開するということの本質や、「日本の常識≠世界の常識」など皆様の世界観を広げるお話をいただきます。</p> <p>※オンライン登壇</p>	<p>講演5 自分らしいキャリアを切り拓く</p> <p>講師: 倉根明德氏、伊藤奎祐氏</p> <p>行政の立場で都市計画やまちづくりに取り組み官民連携で地域価値創出に挑戦してきた倉根氏と、丸の内での出会いを起点にキャリアを切り拓き企業で多様な領域から新規事業の種を見つける業務に取り組む伊藤氏が、人のつながりや場の力をどう活かすキャリアや社会との関わりを形づけてきたか、そのプロセスと挑戦を語ります。</p>
12:00 - 13:00	昼食		
13:00 - 15:00	<p>講演2 社会課題を自分ごとに</p> <p>講師: 東野唯史氏、久松達央氏</p> <p>Rebuilding Center JAPANを立ち上げ、古材や古道具に新たな活動を見出し販売する活動を行う東野氏、茨城県土浦市で農園を営みながら、日本の農業の課題や未来についても考えながら日々取り組む久松氏。より良い社会を築いていくため、課題に向き合い挑戦を続けた経験をお話いただきます。</p>	<p>講演4 つながりが生む、新しい可能性</p> <p>講師: 小南理華氏、八木橋パチ昌也氏</p> <p>学生時代の活動がきっかけで東北地方にかかわるようになった小南氏。本業では共創パートナーを増やし関係性を深める活動をするともに、社外では誇りある就労をキーワードに就労支援に取り組む八木橋氏。お二人のこれまでの歩みから、つながりが生む、新しい可能性について学びます。</p>	<p>ワークショップ2 発表準備</p> <p>テーマ発表の方法について学びます。これまで検討してきたテーマ内容について、チームごとにプレゼンテーションの準備をします。</p>
15:00 - 15:30	休憩		
15:30 - 17:30 [DAY3のみ-18:00]	<p>フィールドワーク 大丸有まち歩きツアー</p> <p>大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリアがどのような歴史から現在に至るのか、これまでの歩みと未来に向けたまちづくりに関してお伝えします。</p>	<p>ワークショップ1 テーマ検討</p> <p>それぞれのチームが選択したテーマについて、関連する事項やキーワードを抽出し、各テーマのストーリーラインを創り上げます。</p>	<p>ワークショップ3 発表</p> <p>チームで検討してきた内容を発表します。この3日間の成果発表として、ビジネスパーソン向けにプレゼンテーションしていただきます。</p>

※参加方法: 会場

講師陣



長岡健氏

法政大学経営学部教授

慶應義塾大学経済学部卒、英国ランカスター大学博士課程修了(Ph.D)。研究テーマは「創造的なコラボレーションのデザイン」。社会論、学習論、組織論、コミュニケーション論の視点から、多様なステークホルダーが織りなす関係の諸相を読み解き、ライフスタイルと働き方の「未来の姿」を探索中。



東野唯史氏

株式会社ReBuilding Center JAPAN 代表取締役
株式会社すわエリアリノベーション社 代表取締役

名古屋市立大学芸術工学部卒。2014年より妻・華南子と空間デザインユニットmedicalaとして活動し、全国で暮らしをしながら空間づくりを行う。長野県諏訪市でReBuilding Center JAPANを設立し、文化とモノを再構築して次世代へ繋ぐ。2022年にはすわエリアリノベーション社を設立し、循環型の地域経済を目指す。



小南理華氏

みなみそうま移住相談窓口 よりみち 代表

学生時代に福島でのボランティア活動を経験したことを機に東北に関心を持ち、卒業後は東北支援のNPOに所属。活動を通じて現在の会社代表と出会う。その後MYSHプログラムに参加し、地域の人々やまちの活動に触れたことから南相馬への移住を決断。移住後は地域の方と野菜作りをしながら、畑を活用した交流拠点づくりや都市部向けの田んぼのオーナー制の企画など、地域コミュニティの創出に携わっている。



八木橋パチ昌也氏

日本アイ・ピー・エム株式会社
コラボレーション・エナジャイザー

つながりをエネルギーに変え、組織や個人の力を引き出すコラボレーション・エナジャイザー。近年は、障害のある方や外国ルーツの方など、声が届きにくい人たちの「働きにくさ」を起点に、すべての人にとっての「誇りある就労」を探究している。「#混ぜなきゃ危険」をタグラインに、人間の矛盾や多様性を愛し、雑談と好奇心から豊かな時間と新しい可能性を生み出す。



久松達央氏

株式会社 久松農園 代表

1970年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、帝人株式会社を経て、1998年に茨城県土浦市で脱サラ就農。年間70種類以上の野菜を有機栽培し、個人消費者や飲食店に直接販売している。補助金や大組織に頼らずに、地域にある資源を活用した自立・自走の「小さくて強い農業」を標榜する。長年の夢だった、下水汚泥の農業利用プロジェクトを進行中。他農場の経営サポートや自治体と連携した人材育成もしている。著書に『おいしい日本の野菜が消える日 二極化する農業の未来』『農家はもっと減っていい』(光文社)



榎本博之氏

B-Bridge International, Inc. President&CEO

1985年大学卒業後、東洋紡に入社。1996年、シリコンバレーのバイオテックスタートアップに転職のため渡米。グローバル販売の統括を手掛け、43か国の販売代理店整備などを行う。2000年、B-Bridge Internationalをシリコンバレーに立ち上げ、バイオテック関連の商材の研究開発や製造販売を行う。その後、バイオに留まらず日本企業の米国進出支援や、アントレプレナーシップ教育や研修を手掛ける。



倉根明德氏

上田市都市建設部都市計画課

金沢大学大学院修了後、2003年長野県庁に入庁。主に都市計画分野の業務に従事し、2019年にはまちづくり業務に特化した新組織「信州地域デザインセンター」の発足を担当。同センターで5年間勤務する中で、より現場に近い立場でまちづくりに関わりたいと思い、2025年上田市役所に転職。現在は、主に官民連携プロジェクトの組成等を担当。



伊藤奎祐氏

丸の内サマーキャンブ(現サマーカレッジ)
2018 卒業生

大学時代に丸の内サマーカレッジへ参加したことをきっかけに、3×3Lab Futureの会員となる。多様な価値観や生き方に触れる中で自身の視野を広げ、キャリアの選択肢を大きく広げてきた。現在は金融機関にて新規事業の創出に向けた探索業務に従事。